



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 阿久津中学校で「職業人に聞く」を支援 【なぜ？自衛隊と南極の氷？】

～社会人としての必要なことや体験談を熱く語る！！～



「職業人に聞く」の様子

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井1尉）は、6月20日（木）、高根沢町立阿久津中学校において、講座「職業人に聞く」に平井1空曹が講師として支援した。

「職業人に聞く」とは、「地域に学び、自分を拓く」をテーマに総合的な学習の一環として、様々な分野の職業の経験談等を聞き、生徒たちに正しい職業観や勤労観を身につけさせ、今後の生活や進路に役立てるために実施されている。

当日は、消防士、警察官、獣医師、農業、販売、銀行員、新聞記者等の18の職業関係者が参加した。自衛官の講座では、1年生から3年生の51人の生徒たち（2回実施）に、自衛隊の仕事、隊員の生活、経験談等を話し、その話に深く聞き入ってくれた。特に、海上自衛隊が南極観測船「しらせ」で持ち帰ってきた「南極の氷」を展示した際、生徒たちは「なぜ南極と自衛隊？」と質問の聲が上ががり、氷の神秘さに触れるとともに自衛隊の様々な任務について、驚いていた。迷彩服試着体験では、生地の厚さと頑丈にできていることに感心していた。2年生の中には、「自衛隊をもっと知りたいので、今年行われる職場体験学習に、是非参加したいです」と、語ってくれた。また、昨年、職場体験学習に参加してくれた生徒4名は、平井1空曹と再会し、嬉しそうに話しかけてくれた。

大田原地域事務所は、「今後も、学校との連携と信頼関係を強化し「地域密着型」の広報に邁進していく」としている。



体験談を熱く語る平井1曹



南極の氷に触れる生徒たち



氷の音が聞こえるかな？

南極の氷に触れる生徒たち